

生物工学国際交流センター (ICBiotech)

海外フィールドスタディ S

令和 5 年度 (2023 年度) 募集要項

1. 授業の目的

本科目「海外フィールドスタディ S」は、受講生が在外研究を中心としたフィールドスタディに参加し、海外において自らの専門性を発揮するための基礎的な力を養うことを目的とします。準備から事後学習までの学習プロセスを受講生が主体的にデザインし実行することで、調整力、コミュニケーション力、柔軟性といった、大学院修了後にプロフェッショナルとして自主的に活動し、他者や他機関と協働するために必要な資質を養います。受講生には、多角的視点から社会を批判的に思考し、能動的に行動できる能力を身に着けることが期待されます。また「海外フィールドスタディ S」は、受講生の専門分野や志向もコースごとに限定し、受講生らが実習後の実際の研究の展開やキャリア形成の上で必要と思われる特定のテーマに絞ってフィールドスタディをおこなうことに特徴があります。さらに、同じ分野に学ぶ海外の学生との協働や交流も重要な目的となっています。

注) 本募集要項は、新型コロナウイルス感染拡大の懸念がないことを前提として作成されています。今後の状況は不明の為「海外フィールドスタディ S」は不開講もしくは延期となる可能性もあります。

2. 実習地域・期間

タイ・2023年8月7日(月)～2023年9月8日(金) (33日間)

2023年8月4日(金) 関西空港発 2023年9月10日(日) 関西空港着

3. 履修条件・受講条件

(1) 選考と履修

本科目では、選考を経て参加が決定した者が履修登録、実習参加を行うものとします。

3月17日(金) 「海外フィールドスタディ S 募集要項・履修申込書」を生物工学国際交流センター ウェブサイトに公開

履修申込の受付開始 (履修申込の詳細は「7. 履修申込要領」を参照)

4月10日(月) 15時 履修申込み期限

4月14日(金) まで 履修決定者に連絡

※上記日程は予定であり、都合により変更となる場合があります。

(2) 参加費用と奨学金について

本科目の海外実習については、JASSO からの奨学金等による費用の一部補助(2022年度実績140,000円)があります。詳しくは5月上旬に開催予定の説明会で説明します。必要経費目安額は下記のとおりです。この額から、補助額を除いた額が自己負担となる金額です。なお、受講希望者が多く、奨学金等が不足した場合、所属研究室に補助額の一部をご負担いただくことがあります。履修にあたってはあらかじめ指導教員と相談のうえ、必要に応じて指導教員より、生物工学国際交流センターまでお問い合わせください。

(3) 成績が優秀かつ経済的に困窮している学生で、一定の家計基準（下表）を満たしている者には別途渡航支度金が支給される場合があります。詳しくはお問い合わせください。

給与所得のみの世帯	年間収入金額（税込）が 300 万円以下
給与所得以外の所得を含む世帯	年間所得金額（必要経費等控除後）200 万円以下

必要経費目安額（タイ） 約 280,000 円～320,000 円

※諸事情（燃油サーチャージなど）により目安額は上下する可能性があります。

※国費留学生など外国籍参加者は、JASSO からの奨学金が受けられませんので、全額自己負担となる場合があります。

4. 定数

20 名程度

5. 講義内容

【到達目標】

- (1) 海外フィールドスタディの訪問先に関する情報を自ら収集し、課題を発見できるようになる。
- (2) 海外フィールドスタディの内容を検討、準備できるようになる。
- (3) 海外フィールドスタディにおいて、実践的な活動に積極的に参加することができる。
- (4) 海外において現地の人々や専門分野の異なる学生と経験を共有することにより、諸現象に対する多角的な視点を持ちながら協働できるようになる。
- (5) 海外での経験から学んだことを基に、自身の専門分野における研究やその後のキャリアプランにどのように活かすか思考できるようになる。

【本科目の内容】

●スケジュール

5 月上旬 説明会

5 月～7 月 事前学習

6 月～7 月 リスク管理についての講義、研究計画事前発表会、渡航直前オリエンテーション

●テーマ

「生物資源と環境」

本プログラムは、「生物資源と環境」をテーマとして、関連分野を専攻する日本・タイの学生を大阪大学と交流先 4 大学との間で相互に派遣・受入れを行います。ラボでの実習を中心として研究能力の向上を図り、生物資源の問題を共同で協議して相互理解を深めます。大阪大学生物工学国際交流センターと大阪大学大学院工学研究科が共同して実施し、タイの 4 つの大学からなるコンソーシアム（マヒドン大、KMUTT、カセサート大、チュラロンコン大）と連携して構築・実施する海外ラボ・スタディ・プログラムです。

対象は、「生物資源と環境」に関連するテーマについて学ぶ大阪大学の博士前期課程及び後期

課程の学生とします。研究科にとらわれずに、生物多様性とバイオテクノロジーの研修に興味のある方を広く歓迎します。

●事前学習（授業時間および実習出発前）

海外フィールドスタディの訪問先の歴史や地域事情、テーマについて学習します。また、フィールドワークの実践と倫理ならびにリスク管理に関する講義では、訪問先での行動に関する留意事項や安全衛生についての指導を行います。

●現地実習（8月～9月）

現地の大学で、自分の研究計画に基づき、バイオテクノロジーに関するラボでの実習を中心に研修を行います。また、現地日本企業の工場を訪問することを予定しています。実習期間中は、日々の学習活動の振り返りを参加者間で行うとともに、研究の成果を発表します。

●事後学習（帰国後）

事前学習と現地実習を踏まえ、レポートの提出等によって研究の総括を行います。

6. 成績評価

・授業への参加（積極性、提出物など）	30点
・海外フィールドスタディへの参加（研究発表、報告、提出物など）	50点
・海外フィールドスタディ実施報告	20点

7. 履修申込要領

指定のウェブサイトから「履修申込書」をダウンロードし、必要事項を入力後に印刷し、指導教員の確認印をいただいた上で、原本を生物工学国際交流センター事務室へ提出してください。必ず TOEIC / TOEFL スコアシート（写し可）、前年度の英文成績証明書（原本）、KOAN で GPA のスクリーンショット、パスポートのコピー、※2023 年度の健康診断証明書（日英併記）も併せてご提出ください。

なお、KOAN への履修登録は、履修者決定後に生物工学国際交流センター事務室にて行います。

【履修申込書掲載 URL】

<http://www.icb.osaka-u.ac.jp/>

※工学研究科の学生で、生物工学専攻以外の専攻所属の方は、「他専攻の授業科目履修申請書」を所属専攻に提出の上、上記7の履修申込要領に沿って履修申込みをしてください。

※工学研究科以外の研究科所属の学生は、「他研究科等の授業科目履修申請書」にあたる書類を所属研究科に提出の上、上記7の履修申込要領に沿って履修申込みをしてください。

※登録単位数に上限を設けている研究科もありますので、ご注意ください。

※有効期限内のパスポートが手元にない場合は、後日提出してください。

【履修申込み締切日時】 2023年4月10日（月）15時

8. その他

研究を実施する大学・宿舎の手配・部屋割り・派遣研究室の割り当てについては、参加者の希望聴取を行います。全員の希望には添えない可能性もありますので、あらかじめご了承願いま

す。

9. 参考資料

以下の URL に過去の海外フィールドスタディ（海外留学支援制度）の様子が掲載されていますので、ご参照ください。

<http://www.icb.osaka-u.ac.jp/on-going-2/>

10. 問い合わせ先

生物工学国際交流センター・事務室

icbjim[at]icb.osaka-u.ac.jp

※[at]はアットマークに変換してください。

※件名は「海外フィールドスタディ S 問い合わせ」としてください。

※履修希望者は必ず、

- ①2023年4月3日（月）以降にキャンパスライフ健康支援・相談センターのHP上にて、健診日の予約及び、WEB問診調査票への回答をして下さい。
- ②豊中キャンパス（2023年4月10日（月）～13日（木））もしくは吹田キャンパス初日（2023年4月20日（木））実施の学生健康診断を受診して下さい。
- ③キャンパスライフ健康支援・相談センターの窓口で、健診受診の3週間後より発行して貰える「日英併記の健康診断仮報告書」取りに行つて、提出して下さい。